

新潟県

公民館月報

昭和52年 5月号

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市一番瀬通町・県教育庁社会教育課内】
【電話・(新潟) ☎ 6111 内線 326】 【振替新潟
4094】

発行人 会長 石井耕一

編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 70円 年 840円】



秋 葉 山

秋葉山のふもとに住む人は、時
おり孫をつれ、好んで秋葉山のあ
ちこちを散歩する。

昔の秋葉山を知る人は、近頃は
すっかり変わってしまった、昔の
いいところがなくなったと嘆く。

たしかに、春は新緑に山が燃
え、桜林が山を彩り、秋には松風
の音を聴き、虫の音のすだく細い
山道を歩く野趣は求めにくくなった。

今では舗装道路が山のあちこちを截り、車
が一気に山頂までかけ登れるまでに都市公園
として整備された。また、一方、昔の桜林
や、茶臼が住宅地にかわり、赤・青・茶色の
屋根瓦が、山頂まで伸びてきている。

しかし、幾分生気を失ないかけたとはい
い、なお神社付近には、幾層霜の風雪に耐え
た老松の自然の造形美があり、見下ろす市街
地や、広漠たる平原平野の展望は、また格別
である。水のぬるむ頃、能代川のほとりよ
り、柳やボブラの新芽を近景とし、水道山や
平和塔を眺める風景は、ちょっと異国情緒す
ら感じさせる。住宅地が山頂まで伸びたとはい
え、新緑の風薫る頃ともなれば、あちこち
空を泳ぐこいのほりも、今の秋葉山の周辺に
見かける風物詩でもある。

そこには、時の流れとはいいい、古いものと
新しいものがほどよく同居し、不思議な調
和すら感じさせられる。

(絵と文・江口正巳)

新潟市社会教育指導員

全国公民館(新潟)大会へ第一歩

第一回実行委員会・事務分掌の大筋きめる

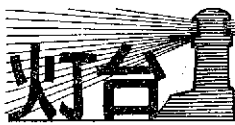
全国公民館大会開催のための第1回実行委員会が、さる4月22日新潟市中央公民館で開催され、大会事務分掌の大筋がきめられた。

大会事務は実行委員会を構成する県社会教育課、新潟市社会教育課、同中央公民館、下越公連、県公連で分担し、今後全公連における大会要項の決定次第、それぞれの分担事務担当メンバーをきめ、進行日程に合わせながらこなしていくことになった。

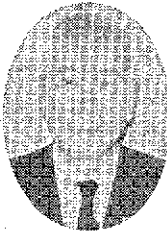
おもなる事務分掌内容と担当分野は次表のとおり。

担 当	会期前の分掌事務	大会当日と以降の分掌事務
記録係 (下越公連)	<ul style="list-style-type: none"> 開閉会式等全体記録取材計画の作成・事務局本部との連絡 分科会記録の取材整理作成 速報の取材・印刷・配付計画の作成 原稿用紙・文具等の準備 整理事務室の準備 速報・決議案等の事前印刷 	<ul style="list-style-type: none"> 録音テープの管理 速報原稿の回収・整理・印刷・校正事務 速報紙を受付係に送付 各分科会記録の回収整理(各200字20枚) 大会総記の整理(200字70枚)
報道係 (下越公連)	<ul style="list-style-type: none"> 報道資料の準備 全公連用・展示用・速報用・写真撮影計画 機材の準備 報道関係者への連絡 	<ul style="list-style-type: none"> 全体会・分科会等の撮影 現像・引伸し 展示場への搬入 速報係への写真送付 大会総記録への写真作成 報道関係者に対する発表 報道関係者への昼食配付
主会場係 (市社教課)	<ul style="list-style-type: none"> 開会式・全体会・記念講演・閉会式ステージの設営図作成 開閉会式のアトラクション演出計画作成 タイトル・全公連旗・机・いす・ワイヤレスマイク・オーバーヘッド・飾花等の準備 音響・照明・舞台の查察準備 開閉会式・全体会の名札の準備 業者・出演者との交渉 登壇者・出演者の把握 表彰式ホステスの指導 	<ul style="list-style-type: none"> 会場設営と確認 音響・照明・舞台の整備と操作 タイトル・名札・机・いす・マイク・オーバーヘッド等の確認 全体会移行への準備と実施 開閉会式・表彰式の進行と運営 登壇者・出演者の確認と連絡 リハーサル
受付案内係 (市中公) (県社教課) (市社教課)	<ul style="list-style-type: none"> 庶務係と連絡・参加者名簿・宿泊名簿・受領書・資料等の準備 受付場所・受付計画の作成 印章等の作成計画と作成 宿泊者の案内計画 視察案内計画 駅前案内所の設置計画 標示板・会場所在図等の計画 	<ul style="list-style-type: none"> 来賓受付と接待係への引継ぎ 受賞者受付と受賞式の説明 一般参加者受付(8ブロック) 県内参加者受付 当日参加者受付 役員・助言者・司会者・記者等の受付と案内 現金入れ箱・受領書・印内等の確認 駅前に案内員配置
接待係 (市社教課) (県社教課) (県社会教育協会)	<ul style="list-style-type: none"> 来賓・受賞者・役員・助言者・司会者等の接待計画の作成 接待用具・茶菓の準備 庶務係と連絡 一般参加者の湯茶の配置計画と用具・茶・コップ等の準備 	<ul style="list-style-type: none"> 接待用具・茶菓等の搬入 受付係との連絡引継ぎ 名簿との照合 湯茶の接待確認・配布 弁当等の確認・配布 一般参加者用の湯茶の準備と補給 あとしまつ
相談係 (市中公)	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊・視察に関する全体計画を把握し案内計画を作成 旅館位置図・バス・連絡船・列車時刻等の準備 バス・タクシー・佐渡汽船等業者との打ち合わせ 庶務係との打ち合わせ 相談所の場所の選定準備 	<ul style="list-style-type: none"> 旅館組合・観光業者・庶務係・宿泊視察部と合同相談所の設営 宿泊・視察に関する相談に応じる

担 当	会期前の分掌事務	大会当日と以降の分掌事務
連絡調整係 (市中公) (県公連) (県社教課) (市社教連) (下越公連)	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画案作成 各部提出の計画書の検討と連絡調整 各会連の招集と進行 全公連・関公連との連絡調整 来賓・受賞者・役員・部会役員の掌握と名簿の作成 講師の招き・祝辞・祝電の依頼 その他、係に属さないもの 	<ul style="list-style-type: none"> 講師・来賓・役員等の掌握・事務局各部との連絡調整・報道機関の応待・局内事務の総括 役員・助言者・司会者打ち合わせ会準備 事後処理の調整
庶務係 (市中公)	<ul style="list-style-type: none"> 役員・事務局名簿・諸帳簿作成整理 参加者名簿・作成とふりわけ 記事・ネームプレート・資料袋等の作成 各部要請の用具・看板類の発注調達 大会資料の広告掲載と募集計画・実施 各部要請の施設・関係業社等との契約と目的別各配置図の作成 参加申込書・旅箱予約券・資料・昼食引換券等の作成と送付 	<ul style="list-style-type: none"> 諸帳簿の整理 相談係・宿泊視察部と合同し各種相談に応じる 事務処理の調整
会計係 (市中公連) (県公連)	<ul style="list-style-type: none"> 参加費・補助金・負担金等の徴収受領書作成と送付 大会予算の更正(庶務係と連携) 大会予算の会計事務執行 	<ul style="list-style-type: none"> 証拠書類のふりわけ 全公連との調整 決算書の作成
救護係	<ul style="list-style-type: none"> 救急薬品の準備と搬入 	<ul style="list-style-type: none"> 救急急者の応急措置・医師への連絡
部会運営係 (県社教主) (事) (県公連理) (事)	<ul style="list-style-type: none"> 部会テーマの検討と起案 部会運営の研究と司会・助言者の選定確認 大会実行委員会との連絡 部会運営の手引き作成 	<ul style="list-style-type: none"> 部会運営の世話 役員・助言者・司会者打ち合わせ会場の設営と打ち合わせ会の運営(前日夜) オリエンテーション
分科会会場係 (市分館)	<ul style="list-style-type: none"> 各分科会の準備体制の確認と査察・事務局本部との連絡 各看板・標示等の準備 必要消耗品の準備 各分科会場の設営図作成 運営者名札・机・いす・白布等準備 雨天の際の対応策 	<ul style="list-style-type: none"> 会場設営 マイク・テーブル・コーダー等設営 湯茶・弁当ガラ始末等の準備 バス等の配車・分科会場への誘導 終了後の借出器具の返済・清掃



社会教育の現場から離れて、二方半位過ぎた頃、こう思った。社会教育だ、公民館だ、夜も休日も走り廻ったが、三回公民館といわれた。それも三回はよい方で、一面余の参加しかならない。年もあるた。もちろん、不特定



多数を対象とした限国会、文化講演会、市民運動会、各種り大会等には多数の参加を得た。これは文化に飢えていた時代であったためである。現在のところ、情報過剰時代になると、この方法もなかなかむずかしくなってきた。人を集めるのが主な目的か、早より質だと強がりながら

この頃反省していること

横山 旭三郎

でも、参加者が多い方がよい。そう考へると行事の難別が主になった。悪く言えば古の学問であり、面の学習がむずかしい。講座や学校といつても、一つのものを通じて行くより、それが各講座や学校で活用されれば、コミュニケーション、また生涯教育学習で、実践まで高ま

深めていく自主的学習法を願ったが、できなかった。自分の研究や意見を発表し、討議し合いたい、先生の講義を聞いてこれを深めていく方法が、どうしてもうまくできなかった。その最大の理由は、公民館職員の不足である。職員はボランティアで、財政状態ではできません。

私自身が社会教育畑の民俗資料館の手伝いをしていく。この施設は図書館等と同じく、自由に來館して調査、研究できる所である。職員はボランティアで、社会教育のむずかしさを感じた。珍しい、なつかしいだけで、は学習にならない。展示品と語って貰いたいのである。結局「娯楽と知識の源泉民俗資料館」の題目で、その人が合った見方で何かを汲みかいてもらうより外ない。

公民館関係法令集

内容・教育基本法・社会教育法・社会教育施行令・公民館運営設備基準・通達「公民館基準の取り扱いについて」

A5版、34ページ
一部二五〇円送料別
公民館関係の諸法令にご使用ください。

申込先・県公運事務局

担当	会期前の分掌事務	大会当日と以降の分掌事務
展示係 (市中公) (市分館)	<ul style="list-style-type: none"> 優良公民館写真パネル 展示場所の選定とレイアウト計画 視聴覚機器の展示場所の選定と割りつけ 土産品の展示場所の選定 庶務・関係業者との打ち合わせ 写真パネルの保管 	<ul style="list-style-type: none"> 優良公民館写真パネルの設営 報道係の撮影した写真の展示と配布 展示場飾りつけ監督
駐車場係 (市分館)	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場の査察・割りつけ計画 駐車場標示札の準備 	<ul style="list-style-type: none"> 標示札の設営 来会者の誘導と整理
宿泊係 (市中公)	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊者名簿の作成 旅館組合との交渉・連携 宿泊予約金の収納 領収書等の送付 旅館の査察・案内歓迎表示の指示 宿泊者の旅館割りあて計画 会場・宿舎間の輸送計画の作成と業者との交渉 	<ul style="list-style-type: none"> 庶務係・相談係と合同・相談所に出向 相談・輸送の案内
視察係 (市中公)	<ul style="list-style-type: none"> 庶務係・宿泊係・相談係との連携し視察希望者の名簿作成(業者) 視察費の収納・領収書の送付(業者) 視察計画の作成(業者) 観光業者との交渉・連携 送迎計画 	<ul style="list-style-type: none"> 相談所に出向 当日申込者および取消者の処理

社会教育広報と公民館報

第六卷 記事原稿の書き方

1 原稿用紙の選定と使い方
2 広報文章の要素
3 用字・用語(当用漢字)
4 現代かなづかい・送り仮名
5 句読点と記号
6 文の組み立て
7 ニュース記事の特徴

第七章 紙面づくりの技術

1 編集造形論とレイアウト
2 見出しのつけ方
3 写真とカットの活用
4 紙面づくりの実際
5 校正

第八章 紙面づくりの技術

1 編集造形論とレイアウト
2 見出しのつけ方
3 写真とカットの活用
4 紙面づくりの実際
5 校正

第九章 パブリシティ

1 新聞・放送の利用
2 パブリシティの心得

第十章 広聴活動

1 広聴の意義と広報との関係
2 広聴活動の実際
3 広聴の結果処理

第十一章 調査と測定

1 調査の目的
2 調査の方法
3 調査の結果処理
4 調査の報告

終章 被四題

1 広報の責任は館長にある
2 担当者は育てるべきもの
3 弁護士をもちたい被四
4 愛情は最良の技術である

▽ 広報の研究をライフ・ワークとして
▽ 三十年の研究と実践を重ねた著者が
▽ 社会教育に集点を合わせた新著

著者 社団法人全国公民館連合会副会長
公民館振興会副会長 長瀬聖典

発行所 日常出版株式会社
A5判 定価 二、五〇〇円
上製本 送料 二〇〇円

序章 社会教育広報の緊要性
I 広報の基礎知識
第一章 広報の基礎理念
第二章 広報活動の企画
第三章 訴求の技術と人間性
II 公民館報の編集と発行
第四章 館報による広報の基本問題
1 広報における館報の地位
2 単独の館報と合同の広報紙
3 館報と一般行政広報との関係
4 館報の基本設計
5 営業広告掲載の可否

第五章 編集企画と取材
1 よい館報の条件
2 編集企画と面建て
3 記事の種類と集め方
4 取材の方法と心がまえ

完作用
2 有線・無線放送
3 小型映画・スライド
4 移動公民館(広報車)
5 掲示用媒体と回覧板

県公運であっせん

文化施設に力点

官房資料に見る本県の動向

課題としている。その他ニュータウン建設(長岡市)、国立の大学設置(長岡市、上越市)、原子力発電所建設(柏崎市他)の促進、一級河川の改修(上越市、小出町)港湾改修(柏崎市、出雲崎町、名立町)等公共土木事業の促進や、農村総合整備事業(水原町、広神村他)、苗場山ろく農地総合開発事業(十日町市)等の国の施策を積極的に導入し、地域の総合的な開発を進めようとしている。

III 地域政策の推進

1. 福祉対策

- (1) 老人福祉施策では、単年の老人生きがい対策事業の導入により、施設の整備や、各種講座、趣味催し物等幅広い施策を展開している。(新潟市、十日町市、両津市、蒲川原村、弥彦村、広神村等18市町村)他に無料健康診断(新潟市、村上市、両津市、出雲崎町、弥彦村)、老人クラブの活動援助指導(村上市、柿崎町、出雲崎町、中之島村、広神村他)、老人憩の家等施設の整備や、利用負担の軽減(新潟市、長岡市、上越市、吉田町他)等の種々の施策が行われている。またねたきり老人に対するものとしては寝具の乾燥消毒、ベッドの貸出、福祉電話の増設等は市部において共通的に実施されているほか、家庭奉仕員の増員、介護人の派遣は多くとられている施策である。
- (2) 障害者対策では、心障児短期里親事業に対する補助、電動車椅子の支給、福祉電話の増設(以上新潟市)、心障者社会生活訓練講習会(長岡市)、心障者扶養共済掛金の全額負担(村上市)介護手当支給(両津市)などの外は市町村単独での施策はあまり見られないが、国県の制度を補完しての在宅心障者対策に重点を置いているようである。
- (3) 児童福祉対策では保育所の新増設を中心に進められている。

2. 生活環境の整備

- (1) 生活環境の整備に関しては、共通して生活道路の新設改良舗装を第1にあげており、過疎債、辺地債、臨時市町村道整備債等を活用し、年次計画的に整備を推進している。
- (2) 道路に次いで多くの市町村で推進しているものに、上下水道の整備があげられるが、とりわけ都市部においては立遅れている都市下水道、公共下水道の建設整備に取り組んでいるところ、計画中のところが多いことが目立つ。(新潟市、長岡市、上越市、柏崎市他の主要都市及び周辺町村)
- (3) ごみ、し尿等の廃棄物処理については、一部地域を除いては、一部事務組による広域的処理が行われているが、処理施設の老朽化、処理能力の不足等から、施設の新設、増設改造が進められている。
- (4) 公園、緑地、児童公園、ちびっ子広場等住民のやすらぎの場や子供の安全な遊び場の整備も多くの市町村で積極的である。(新潟市、長岡市、上越市、柏崎市、燕市、水原

町、吉田町、弥彦村、中之島村他)

- (5) 公害対策については、本県では、全体に共通した問題とまではなっていないが、新潟市、上越市等深刻な問題をかかえているところでは、積極的な対策を行っており、企業との公害防止協定の締結、大気汚染時監視システムの強化等(新潟市、上越市)、公害防止施設改善資金貸付限度引上げ(新潟市)公害防止条例の制定(村上市)等を行い、住民の健康と安全確保に努めている。

3. 教育文化スポーツの振興

- (1) 小中学校の新築は、危険校舎の解消、児童急増によるマンモス校の解消あるいは、児童減少による統合等、その理由は種々であるが、ほとんどの市町村で重点事業として進められている。また特殊学級の開設、充実(新潟市、村上市)、特殊学校就学援助金(吉田町、弥彦村)、情緒障害学級新設と指導者養成(村上市)などがある。
- (2) 社会教育、文化活動の振興は、住民の生活意識の変化に対応して重要視されてきており、施設の整備充実、青年会婦人会等の地域団体への助成、各種講座、催し物の開催等はいずれの市町村においても積極的に行われている。また公民館活動を中心とした、生涯教育の推進に力を入れているところ(燕市、蒲川原村、広神村)も見られる。

施設の整備としては、音楽会館の建設(新潟市)、公会堂の建設(上越市)コミュニティセンターの設置(柏崎市)、公民館の建設(村上市)、民俗資料展示を併設した町民会館の建設(津川町)、総合社会教育センターの建設、移動公民館、移動図書館の設置(水原町)、社会教育センター建設(弥彦村)などがある。

- (3) 総合グラウンド、体育館、スポーツ広場等住民のだれもが利用できる施設の整備は多くの市町村で行われている(上越市、柏崎市、村上市、燕市、十日町市、両津市、吉田町、高柳町、柿崎町、弥彦村、中之島村、新穂村他)が、特に農山村部町村での町(村)民体育館、町(村)民グラウンドの建設が多いことが目立つ。

4. 産業の振興

- (1) 農林業の振興、近代化は、住民の所得向上、生活近代化に直結するものであり、農山村部はもとより都市部においても最重点事業とされているが、施策としては、国県の補助事業、金融制度の積極活用による、農林道、用排水路は場等の基盤整備や、省力化、集団化による経営の近代化を促進するとしている。

- (2) 商工業の振興については、金誘而での助成に重点が置かれている。

中小企業に対する融資制度の新設、貸付限度額の引上げ、条件緩和、預託金の増額等の不況対策がとられており、(新潟市、長岡市、上越市、燕市他都市部)また商工会等の団体に対する助成はいずれの市町村でも行われている施策である。

公民館・コミュニティ施設

自治大臣

本紙 3月号第2面に載せた「コミュニティ・市町村における公民館の位置」は、昭和52年1月、自治省大臣官房地域政策課でまとめた「市町村における地域政策の動向について」と題する資料によるものだが、同資料には、各都道府県の動向のあらましも記載されている。このたび全公連浜田事務局長をわずらわし、本県に関する全文を入手したので紹介する。

「新潟県」

I 市町村長の基本姿勢

各市町村長に共通した姿勢として、「長期化した経済不況による地方財政をめぐる厳しい環境の中にあって地方行財政運営は、かつてない試練にたたされている。」との認識のうえにたち、「一般経常経費の節減合理化と、財源の重点的・効率的配分及び財源確保に最大限の自己努力をほらい、健全財政の維持を基調としながら、教育・福祉の向上と魅力ある地域づくりの基盤整備等、将来の基盤づくりのための施策は、国の方針や社会経済情勢を十分みきわめながら積極的に推進しなければならない。」としていることがあげられる。

このような基本姿勢にたって、住民との対話・協調・合意による住民主体の行政を強調しつつ、重点施策として掲げている共通的なものは、次の4つに集約することができる。

1. 住民福祉施策の充実

住民福祉の向上は、市町村政の基本的施策であるとして、いずれの市町村長も重点を置き、「きめこまかな福祉対策」を強調している。

福祉施策は、老人、障害者等社会的弱者対策に焦点をあて、国県の施策をきめこまかに補完するとの姿勢で臨んでいることが多い。また福祉の向上は、地域の人々の助け合いの心、連帯感が必要であることを強調し、福祉団体への助成やボランティア活動の推進を図ろうとしている。

2. 生活環境の整備

道路は、生活環境整備の基盤であるとして、市町村道の新設改良舗装を優先施策として掲げていることは、各市町村に共通しており、冬期間の道路確保、無雪化等雪対策も多くの市町村でとりあげられている。

また、上下水道、ごみ、し尿処理等、住民生活に密着した衛生環境の整備、や公園、スポーツ施設、集会所等、住民の「憩」「連帯」の場の提供、あるいは消防、交通安全等の住民生活の安全確保対策など、物心両面での“明るく住みよいまちづくり”を日指している。

3. 教育文化の振興

小・中学校の新築、プールの設置等の義務教育施設整備は、ほとんどの市町村において重点事業とされている。

また、公民館、コミュニティ施設、文化施設の整備とこれら施設を活用しての、社会教育・文化活動にも力点を置いている。

4. 産業の振興

農業県としての本県の特徴から農業の振興・近代化を施策の重要な柱としていることは、すべてに共通しており、国県の補助事業の積極的導入により農業基盤の整備を推進することとしている。

また、地場産業を有するところでは、当然のことながらその育成と近代化を掲げ、農業との調和ある発展を図ろうとしている。

II 市町村政の課題とその対応策

当面する市町村政の重要課題として共通的にあげているのは、財政健全化の問題である。

財政の逼迫は今後長期間継続し、かつての高度成長下のような状態は再び望み得ない情勢の中にあって、行政需要は増大、多様化する一方であり、如何にして財政の健全性を維持するかが重要課題であるとしている。

対応策としては、人件費経常経費の抑制、既往施策の点検、見直しによる経費の効率化、使用料負担金の引上げ等受益者負担の確立、行政機構の合理化などをあげ、“英知を集め最大限の努力を傾注する”とし、自己努力を強調しながらこれには限界があるとして、超過負担の解消、国と地方の事務、税財源配分の是正等を国に強く要望していかねばならないとしている。

その他の課題については、各市町村それぞれに個別具体的な事項をあげており、全体的に共通するものは、Iに述べた4つの重点施策に関するものに集約されることになるが、大きく分けて次のことがいえる。

1. 農山村部では、過疎・辺地対策、地域格差の解消をあげているところがやはり多く、(両津市、津川町、出雲崎町、高柳町、名立町、蒲川原村、広神村、朝日村他)これらの市町村では、過疎地域振興計画等、各種地域指定立法に基づく振興計画にそって、総合的に施策を推進する中で解決を図ろうとしている。

2. 都市部では、道路、上下水道、公園等生活環境の整備をあげており、なかでも公共下水道の整備を課題としているところが多い。(新潟市、長岡市、上越市、村上市、燕市、十日町市、亀田町、他)

3. 公共事業の促進、国の大型プロジェクトへの対応策をあげているところも多く見られる。本県では、現在、上越新幹線、関越高速道、北陸高速道の大型公共事業が進行中であり、関係する市町村では、これに伴う地域開発を当面の重要

実践記録シリーズ

25

分館特集

①

各戸から協力費

親子ぐるみ多彩な活動



分館長に任命されて二週目である。規模のものばかりで、平凡な単作... 親子ぐるみ多彩な活動... 分館長に任命されて二週目である。規模のものばかりで、平凡な単作... 親子ぐるみ多彩な活動... 分館長に任命されて二週目である。規模のものばかりで、平凡な単作...

【校内餅つき大会】

本館は毛タンな独立館だが、町内九分館は未だ学校併設である... 餅つき大会... 本館は毛タンな独立館だが、町内九分館は未だ学校併設である...

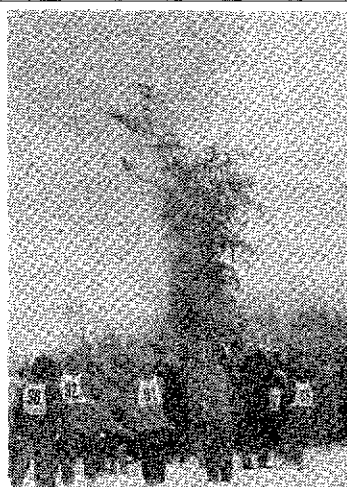
みると、六月二十日農畜運動会... 「家族看護法」で消防警員を招き... 農畜運動会... 「家族看護法」で消防警員を招き...

大潟町潟町分館

盛りあがる大運動会

貴重なコミュニケーションの場

大潟町公民館・潟町分館の行事... 大潟町公民館・潟町分館の行事... 大潟町公民館・潟町分館の行事...



〔スキー大会から〕

みんなの力で成功させよう 全国公民館(新潟)大会へあと5ヵ月

あの頃のこと



あの人は全くまねている、瓜ど心にも非常に心の暖かい、お二つなどという。テレビにもとなしい先生であった。もっとも「ごっこシ」なんてのがあ

り。

しかし、ひと口に似るといって

も似たにはいるるある。双子の

よまた、もともと似ているもの、

そっくりシ、ものまね、こわ

魚、はてはにせ札のように努力し

て似せるもの、朱に交われれば赤く

なるのと同じ、いつの間にか似て

くるもの等々。なにに似る中味も

また様々である。姿・かたち・挙

措動作・表情・言葉つき・趣味・

嗜好・もの考え方から人生観に

至るまで、またまたであるであ

ら。

私が小学校五、六年を愛持った

ある男子組の子とては、中等

商業(旧制)に入って、あの子が

と思う者まで、なまなまバスケ

ットやラジビーの選手になった

中には主将になったものもある。考

えてみると、誰かは自分にあつた

気がしてならない。元来、体操の

似る

金井 宣夫

不得手な私は、中学でバスケット入りしたいなど考えた(これはの選手にさせられ、全国大会にも父の急死果敢とやしかった。出たなをのため、体育の時間に教員になっても理科方面に進んだは、やたらとトッショナルやバスなども、先生の影響のようであ

ケツばかりさせていたせいでは

ないか。

また、私が理科特(物理化学)学校へ行かれたが、大正年代とし

が好きなになって、昔の高等工業にては珍しく理科専任の先生がお

私が入った小学校には、後に女

子に受持たれているまもたは

生に受持たれているまもたは

生に受持たれているまもたは

生に受持たれているまもたは

生に受持たれているまもたは

生に受持たれているまもたは

生に受持たれているまもたは

生に受持たれているまもたは

生に受持たれているまもたは

生に受持たれているまもたは

生に受持たれているまもたは

生に受持たれているまもたは

生に受持たれているまもたは

生に受持たれているまもたは

生に受持たれているまもたは

私と公民館

読書サークル

松之山分館・読書サークルリーダー

田辺 逸子

「忙しいからこそ時間を作って集まりたい。みんな本を読み合おうと自分ごとをもち、語

りする。そして、帰るときには

言いしれぬ喜びを感じる。」

読書サークルの会員の声であ

り。なかみ、会員の輪読後、講師を

り。なかみ、会員の輪読後、講師を

り。なかみ、会員の輪読後、講師を

り。なかみ、会員の輪読後、講師を

り。なかみ、会員の輪読後、講師を



まえて話さう。
専任講師は岡村喜代館長(松之山小学校長)

・使用する本(分館蔵書・各20冊)

・小川未明講話

・松之山の自然

・松之山の自然

・松之山の自然

・松之山の自然

・松之山の自然

・松之山の自然

・松之山の自然

・松之山の自然

・松之山の自然

・松之山の自然

あとがき

さわやかな五月晴れがつまみ
ます。桜がた冬も深のき野
に「に」生命の満ちあふれる感後
の春、一眼の新茶がうまい思
うこのころです。

十月開催の公民館新潟大

会の発行願望もとのいつつあ

ります。あと五月、力を言わ

せてがんばりましょう。

「実践記録」が載せきれな

ほ集まっています。うれし

ことです。順々に載せていき

いと思ひます。

(木)

からだ。ひたいの汗をよ、面もな

く読み始める。窓が舞う。

「水車は私たち、小鳥は養蚕生

活をあらわすみたい……」

「自分が苦しいのに人のことを

思いやる水車、こぼさずから

いる自分がすかしい。……」

「子どもの感想文を読んだら

今こそその子の気もちがわか

た。帰って私の考えが語れる。」

などと、話合いがすすむ。……

層の疲れもときほぐされてい

講師や仲間のお話を聞くのが楽し

みで、自分が、自分を聞き、自分

をつくる喜びがこの会の魅力であ